

新議会の構成決まる

議長に外菌議員

副議長に桑鶴議員が当選

◎常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定

統一地方選挙後の初議会（臨時会）は、5月8日から10日までの3日間にわたって開かれた。

今臨時会は、議長及び副議長の選挙並びに常任委員及び議会運営委員の選任が行われたほか、委員会条例の一部を改正する議案議、監査委員の選任同意議案及び専決処分報告について審議が行われた。

5月8日（水）

<議長・副議長選挙>

5月8日の本会議は、一般選挙後の最初の議会であり、年長議員の田之上耕三議員が臨時議長となり、開会が宣告され、議席の指定（議席は別掲のとおり）、会議録署名議員の指名、会期の決定及び会期日程の決定後、直ちに議長選挙が行われた。

選挙は、単記無記名投票により行われ、立会人に柴立鉄平議員と安楽ひでみ議員が指名された。

開票の結果、

投票総数	51票
このうち、有効投票	51票
無効投票	0票
有効投票中	
外菌勝蔵君	42票
柳 誠子君	8票
たいら行雄君	1票

となり、最高得票者の外菌勝蔵議員が議長に当選した。

この後、外菌新議長の就任あいさつに引き続いて、外菌議長のもとで副議長選挙が行われた。開票の結果、

投票総数	51票
このうち、有効投票	51票
無効投票	0票
有効投票中	
桑鶴 勉君	41票
前野義春君	9票
たいら行雄君	1票

となり、最高得票者の桑鶴勉議員が副議長に当選した。

この後、桑鶴新副議長の就任あいさつがあり、続いて、知事のあいさつが行われた。

<諸般の報告>

知事から、地方自治法第180条第1項の規定による専決処分に関し、「専決処分報告書」をもって、いじめ防止対策推進法第30条第2項の規定による調査に関し、「鹿児島県いじめ再調査委員会調査報告書」をもって、それぞれ報告がなされた旨議長から報告があった。

<議案議第2号の上程>

議案議第2号「鹿児島県議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件」が上程され、原案のとおり可決された。

<報告第2号の上程>

報告第2号（専決処分報告2件）が上程され、知事の提案理由説明が行われた。

5月10日（金）

<常任委員・議会運営委員を選任>

5月10日の本会議は、常任委員及び議会運営委員の選任が行われた。

休憩中に開催された各常任委員会及び議会運営委員会で正副委員長の内選が行われ、その結果は、再開後の本会議において報告された。

（各常任委員会及び議会運営委員会の委員名簿は別掲のとおり）

<監査委員の選任に同意>

議案第63号鹿児島県監査委員の選任について同意を求める件は、再開後の本会議に上程され、知事の提案理由説明後、委員会付託を省略し、直ちに本会議で審議され、採決の結果、同意された。

監査委員 酒匂 卓郎
 " 前野 義春

<報告第2号を承認>

5月8日に上程された報告第2号（専決処分2件）については、この日の本会議において委員会付託が行われ、本会議を休憩し、総務委員会で審査された。

本会議再開後、委員長報告の後、採決が行われ、いずれも承認された。